

Brush Up Letter

神戸大学医学部附属病院
D&N plus ブラッシュアップセンター

〒652-0032 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-5 TEL 078-382-5266
E-mail: brushup@med.kobe-u.ac.jp http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/dn/

2014年2月～4月の主な活動

| 全体 | | |
|-----|------|------------------------------|
| 2月 | 25日 | 第2回 運営委員会 |
| 3月 | 1日 | 佐賀大学医学部附属病院フォーラム参加 |
| | 29日 | 地域医療活性化センターへ引っ越し |
| 4月 | 1日 | 新規採用職員合同研修 撮影 |
| | 1日 | 平成25年度センターパンフレット発行 |
| | 18日 | 地域医療活性化センター開所式 |
| 医師 | | |
| 4月 | 1日 | 育児・介護復職者支援短時間勤務医員 4名採用 |
| | 全10日 | 研修医ミーティング・1年目研修医オリエンテーション 撮影 |
| 看護師 | | |
| 4月 | 2日 | 看護部 採用オリエンテーション 撮影 |
| | 22日 | 看護部長講話 撮影 |

〔4/1〕 新規採用職員合同研修



4月1日、新規採用者約360名を迎え「新規採用職員合同研修」が行われ、D&Nplus ブラッシュアップセンター 錦織センター長（皮膚科教授）より、当センターの概要説明、PRを行いました。様々な職種の方々に広く周知しました。

2014年5月～6月活動の主な予定

| 全体 | | |
|-----|-----|---|
| 6月 | 未定 | 第1回 運営委員会 |
| 医師 | | |
| 5月 | 全7日 | 研修医ミーティング・Clinical Problem Solving集中セミナー 収録 |
| 6月 | 未定 | ママドクカフェ開催予定 |
| | 全8日 | 研修医ミーティング 収録 |
| 看護師 | | |
| | | 未定 |

4/1 神戸大学医学部附属地域医療活性化センター1階に移転 4/18 地域医療活性化センターの開所式が行われました



3月29日、7年間在中していた第1病棟1階の小部屋より、神戸大学医学部附属地域医療活性化センター1階に移転し、4月1日より移転オープン致しました。以前は手狭なため、落ち着いて対応することが難しい面もあり窮屈な思いを持たれたことと思います。今度は小さなお子様連れでも、ゆったりとベビーカーのままご入室頂くこと

ができ、授乳室も準備致しましたので気を使われることなく落ち着いてご利用頂けます。

プライバシーに配慮した相談スペースや、自由に講義収録コンテンツや医療端末をご利用いただけるスペースもご用意しています。ベビーベッドも準備し今後キッズスペースも充実していく予定です。以前にも増してお子様連れでもゆったりとご来室頂きお話を伺えることと思っています。病院から少し遠くなり、勤務時間内にご来室頂くのは難しいかもしれませんが、どうぞお気軽にお越しくださいませ。



また、4月18日16:00～地域医療活性化センターでは開所式典が行われ、地域医療活性化センター長、医学部長、病院長、神戸大学長、兵庫県知事等来賓によるテープカット。その後2階多目的研修室で院内外の大勢の来賓方にご参列頂いた

中、開所式・センター内覧会が行われ、神緑会館多目的ホールにおいて開所祝賀会が行われました。

【お願い】地域医療活性化センターの開館時間は平日8:30～17:15となっております。左記以外の時間はセキュリティがかかっておりご自由に入館頂くことはできません。またブラッシュアップセンタースタッフ不在の場合もございますので、ご来室の際には事前にご連絡を頂きますようお願いいたします。



お知らせ 講義収録コンテンツの閲覧について



研修医ミーティング等、配信の講義収録コンテンツが従来のcosmic端末に加え、病院HP・神戸大学大学院医学研究科HP学内専用ページより閲覧いただけるようになりました。院内でのご利用にはログインID・パスワードが必要です。また、院外(ご自宅)からのご利用は、従来通りブラッシュアップパークへのご登録が必要です。院内専用ログインID・パスワード発行についてやブラッシュアップパークへのご登録の詳細は、D&Nplus ブラッシュアップセンターまでご連絡をお願いします。

先輩ママ紹介：研修医

第10号となる今回は、研修医2年目でただ今産休中の医師、子育てをしながら研修医として学び、診療に当たりと多忙極める中、初期研修最後の年を迎えられます。また、子育て中のママナースの方にはママナース会開催の様をご寄稿頂き

初期研修医2年目

石田苑子 先生



2013年4月 入職
2014年4月現在、第2子産前休職取得中

私は現在研修医2年目で、4歳になる第一子と、5月に出産予定の第二子がいます。夫は同じ大学病院の大学院生です。夫が研修医終了時のタイミングで結婚し、私はまだ学生でしたが、将来の志望科が外科であることから時間の融通が利くうちに、学生時に妊娠・出産を経験しました。両親や義両親は遠方におり、夫婦二人だけでの子育ては本当に大きな決断でした。事前に保育所やベビーシッター、神戸市のファミリーサポート制度などをよく調べ、幸い友人たちの援助にも恵まれ、多くの人の助けを借りて勉学と子育て、そして現在は研修生活と子育てを両立できております。職場も理解ある方たちばかりで、時には先輩医師として、時には先輩ママさんや先輩パパさんとして、夫婦共々お世話になっております。

4歳の長女の子育てに費やしてきた時間は、そう多くないかもしれませんが、しかし、保育所の保育士さんや、ベビーシッターさん、ファミリーサポート制度の会員さん、友人やご近所さんたち、本当に様々な方に愛情いっぱい育てていただき、我が娘ながら素直で、たくましく、元気いっぱい育ってくれています。自分一人で子育てをしていたら、こん

なにも多くのことを娘にしてあげられた自信はありません。医師としても母親としてもまだまだ未熟ですが、経験から考えますと、自分の意思をなるべく外に発信し、多くの人に相談したり、助けていただいたりすることで、自分も家族も幸せな日々を過ごせるのではないかと思います。まわりに迷惑がかかる、結婚されていない方に不公平になる、という後ろめたさもあるかもしれませんが、しかし、必ずしもそのような形でしか子育てはできないというわけではないと思います。意外と身近に、本当は何か力になりたいと思っている、自分も昔子育てで苦労した、今まさに同じ状況だ、明日は我が身、というような人がいます。自分から発信する事で、いろんな意見を交わし、それを職場や将来の後輩たちに還元することもあると思います。

結婚、出産は本当に人生において大きな決断です。女性はどうしても仕事や生活がペースダウンしてしまいます。しかし、何かを諦めるということではなく、自分にしか作れない家庭、自分にしかできない仕事などを模索することで、輝ける場があると私は信じています。男性も子育てをしてみると、意外と楽しかったり、考えが変わったり、成長できたりと、新しい発見があるかもしれません。今後もブラッシュアップセンターを始め、多くの方々と交流を持ちながら、仕事と家庭の両立方法を模索していけたらと思っています。そして自分の経験が少しでも他の方々のお役に立ちますよう願っております。

(2014年3月寄稿)

〔2/23〕 ママナース会 開催

(現) 10階北病棟 小栗 広恵さん

1997年 入職
2014年4月現在、育児短時間勤務利用(24時間/週勤務)



2014年2月23日(日) 11時～14時 第2会議室にてママナース会を開催しました。9名のママ(うち5名は育児中の方)とそのお子様たち8名が集まってくれました。現役ママナースの方々は、勤務先が外来、病棟、また勤務形態も時短、育児時間、フルタイムとそれぞれ違いましたので、いろいろなお話を聞かせていただくことができました。復帰前の方は春の復帰に向けて、勤務時間をどうするか、復帰先の部署がどうなるか、子供が病気の時はどうするか、病棟での勤務とはどんなものなのか、などといった心配事や質問があり、先輩ママナースがそれぞれに対し自分の経験をもとにアドバイスされていました。病児保育の場所や使用方法、また利用する上でのコツなどを伝授されていました。卒乳、断乳について、寝かしつけについてこんな本を読んで実践してみたらよかったよ、といった情報交換や効率よく家事をこなす方法についてなど、忙しいママならではのアイデアがあふれたトーク

が繰り広げられていました。その他、二人目のタイミングや小学校や学童のこと等々・・・話題は尽きませんでした。

また現役ママナースの方で、病棟で勤務されている方々からは、病棟での働き方について聞くことができました。現在は病棟に1人だが、時短の方がもっと増えると働きやすくなるのではないかと、子供の行事や病気で休みをもらうこと、業務内容や帰宅時間に配慮していただくには周囲のスタッフ特に上司からの理解が重要であると話されていました。また、部署に子育て経験者の方がいると相談に乗ってもらえ、心の支えになっていると話されていました。

今日の会で聞いたり話したことが、参加されたみなさまそれぞれにとって、今後の働き方を考える上でのよい参考になったのではないかと思います。

今後もママナースのみなさまが、いきいきと輝き誇りをもって、仕事にやりがいを感じながら働き続けていけるように、またそんな仲間がもっと増え先輩たちにとってよいモデルとなれるように、活動を続けていきたいと思っています。今回は参加できなかった方も、次回はぜひご参加くださいね!

(2014年3月寄稿)